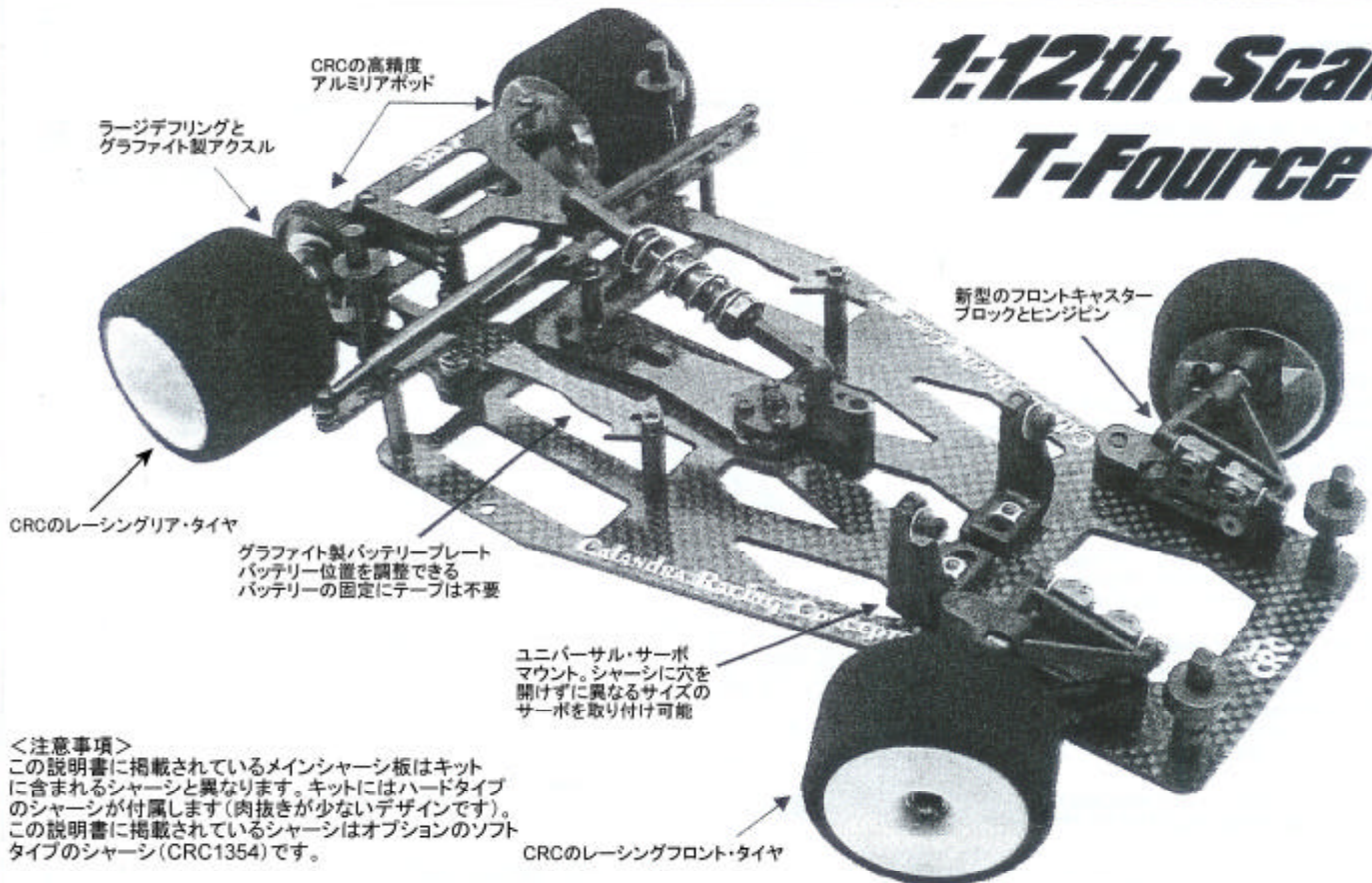


CALANDRA RACING CONCEPTS

1:12th Scale T-Four

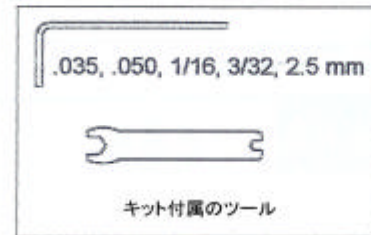
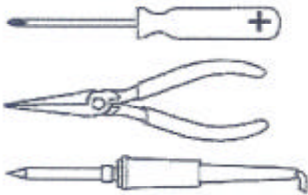


<注意事項>

この説明書に掲載されているメインシャーシ板はキットに含まれるシャーシと異なります。キットにはハードタイプのシャーシが付属します(肉抜きが少ないデザインです)。この説明書に掲載されているシャーシはオプションのソフトタイプのシャーシ(CRC1354)です。

CRCのレーシングフロント・タイヤ

Tools



キット付属のツール

いくつかのツールはキットに付属しています。ただしこれらのツールは簡易的なものでできれば専用のツールを準備するようにしましょう。この他に下記のツールが必要です。

- 3/16" ナットドライバー
- 1/4" ナットドライバー
- はさみ
- 両面テープ
- ねじ止め剤
- プライマー

走行までに必要なパーツ

- プロポ・サーボ
- 4セルバッテリーパックと充電器
- スピードコントローラー
- 540サイズのモーター
- ピニオン・ギア
- 1/12スケールボディ(#4160 CRCクラージュEVO3推奨)

Chassis Prep



バッテリー槽の加工



角を落とす程度で、削ってはいけません!

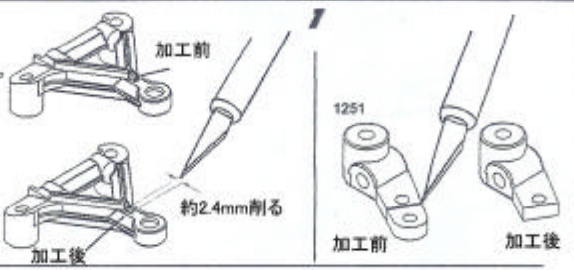
バッテリーが最良の位置になるようバッテリー槽の大きさは調整されています。バッテリー槽の角を削りすぎないでください。カッターナイフを使ってバッテリー槽の角を落とす程度で十分です。

グラファイトの削り粉は有害です。誤って吸い込んだり目に入らないよう注意してください。作業が終わったらシャーシから削り粉を取り除きます。作業エリアの削り粉も掃除し、手を洗ってください。



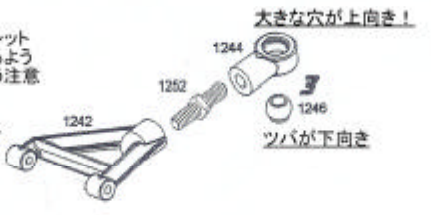
Bag F

1. ロアアームとステアリングブロックの加工
 ロアアームとステアリングブロックとが干渉する部分を削ります。それぞれのパーツを図のように加工してください。



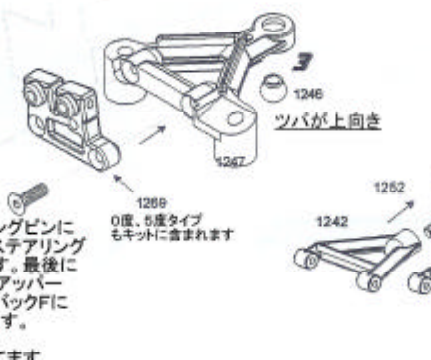
2. アッパーアームマウントの取り付け
 1269 (10度タイプ)を図のようにロアアームに取り付けます。ネジはバックFに入っています。

3. ビポッドボールの取り付け
 1246ビポッドボールを1244アイレットに押し込みます。アイレットには向きがありますので大きな穴にビポッドボールを入れるようにしてください。ビポッドボールのツバが図の方向になるよう注意してください。



右の図では1244アイレットの下から1246ビポッドボールを入れるように見えますが実際には上(大きな穴側)からビポッドボールを押し込みます。

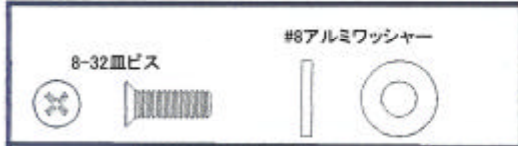
4. アッパーアームの組み立て
 1242, 1252, 1244を図のように組み立てます。1252はターンバックルネジになっています。図のように1242と1244の間隔は3.2mmにします



5. フロントアクスルの組み立て
 1251ステアリングブロックに1235フロントアクスルをねじ込みます(逆ネジになっています)。図のようにボールスタッドをステアリングブロックにねじ込みます。最後にフロントアクスルとボールスタッドを1388ロックナットで固定します。

6. フロントサスの完成
 1250キングピン的一方に1382Eクリップを取り付けます。キングピンに1393スプリングを通し、下からキングピンを通します。1251ステアリングブロックを通し最後にアッパーアームにキングピンを通します。最後に図のように4731シムを4枚入れ、Eクリップを取り付けます。アッパーアームは図のように1268ヒンジピンで固定します。このときバックFに入っている白いテフロンワッシャーでクリアランスを調整します。

1~6と同じ要領でもう片方のフロントサスアームを組み立てます



Bag F cont.



組み立てた左右のフロントサスアームを8-32皿ビスでシャーシに固定します。#8アルミワッシャーでフロント側の車高を調整できます。

Bag #2



Tバーアセンブリの組み立て
 図のようにTバーアセンブリを組み立てます。
 1274プラスチックビポッドシートの上を下を間違えないよう注意しましょう。プラスチックビポッドシートを固定する2-56ビスを締めすぎないよう注意してください。ビポッドボールがスムーズ且つガタが無いよう慎重に組み立てましょう。

Bag 1, 2 + R

4-40 x 3/8 皿ビス

4-40 x 1/4 皿ビス

1256 1/4" ビボッドボール

13591 プラスティック スペーサ

レフトバルクヘッド

モーターポッド

1336 ロアポッド

Tバー、ロアポッド、モーターポッド、バルクヘッドの組み立て

1. 1336ロアポッドにモーターポッドとバルクヘッドを取り付けます。取り付けには4-40 x 1/4皿ビスを 사용합니다。
2. 組み立てたTバーアッセンブリをロアポッドに取り付けます。取り付けには4-40 x 3/8皿ビスを 사용합니다。図のように13591プラスチックスペーサがロアポッドとTバーアッセンブリの間にくるように組み立てます。1256 1/4"ビボッドボールをしっかりと固定できない場合は布でビボッドボールを包み、プライヤーで挟み、4-40 x 3/8皿ビスを締めます。

Tバーアッセンブリには3つの穴がありますがロアポッドとの固定には左右2つの穴を uses。中央の穴は使用しません。

Bag 1, 2

4-40アルミ ロックナット

4-40 x 1/2" 皿ビス

4-40 x 1/2" スタンドオフ

ポッド、Tバーアッセンブリをシャーシに取り付ける

組み立てたポッド、Tバーアッセンブリを図のようにシャーシに取り付けます。スタンドオフをうまく固定できない時は布でスタンドオフを包みプライヤーで挟みネジを締めます

+オプションのソフトシャーシ (CRC1354) で説明しています

Bag 3

シャーシ・ツイーク プレースアッセンブリの組み立て

1. 1334プレースを平らな面に置きます。そして1391セットスクリューをプレースに真っ直ぐねじ込みます。プレースに垂直にねじ込むよう注意しましょう。
2. 1287メタルスプリングホルダーを1391セットスクリューの先端に取り付けます。外れないようネジ止め剤で固定します。図を参考にしてください。
3. サイドスプリングはメタルスプリングホルダーの溝のはめ込みます。このときスプリングをホルダーに押しつけながら反時計回りに回転させると簡単にスプリングを固定することができます。しっかりと固定されないと走行中にサイドスプリングが脱落します。ご注意ください。
4. 1334プレースに1384スチールボールスタッド(黒)を取り付けます。ボールスタッドは1334プレースに対して垂直に取り付けてください。図のようにボディポストとスタンドオフを取り付けます。
5. ボディポストのカラーは13783セットスクリューで固定します

13783 1/8セットスクリュー

1287メタルスプリングホルダー

1384スチールボールスタッド(黒)

4-40 x 1/4ボタンヘッドスクリュー

1378ボディポストとカラー

1391 4-40 x 1/2 セットスクリュー

4-40 x 3/4 スタンドオフ

13582 4-40 x 1/4 セットスクリュー

サイドスプリング

13582 4/40 x 1/4 セットスクリューはこの位置に取り付けます。セットスクリューのネジ山が2つほど見えるまで締めます

1334プレース

1391 4-40 x 1/2 セットスクリューは1287メタルスプリングホルダーへ最後まで締め込む。ネジ止め剤で固定する

サイドスプリングはメタルスプリングホルダーにねじ込むように押し込んで固定する

Bag 3 cont.

4-40 x 1/4" 皿ネジ
4-40 x 1/4" ボタンヘッドスクリュー

ツイークプレートをシャーシに取り付ける

1. ツイークプレートをシャーシ裏から図のように固定します。固定には4-40 x 1/4" 皿ネジを使います。

2. Tバーアッセンブリ上のスタンドオフとツイークプレートとを固定します。4-40 x 1/4" ボタンヘッドスクリューを使います。

3. シャーシとロアポッドを平らな面に置きます。サイドスプリングが装着された左右のセットスクリューを締め込み、スプリングがTバーアッセンブリのボールに接するようにします。軽く接する程度で十分です。

*ツイークプレート中央が高くなる場合は左右のスタンドオフ下にシムを入れて調整してください。

オプションのソフトシャーシ (CRC1354) で説明しています

Bag 5

4-40 x 1/4" ボタンヘッドスクリュー
2-56 ボールスタッド(黒)
4-40 ロックナット
4-40 アルミボールスタッド

リアトッププレートをモーターポッドに取り付ける

1385 トッププレートの下側に2-56ボールスタッド(黒)を取り付けます。真っ直ぐ・垂直に取り付けましょう。

4-40ボールスタッドをトッププレート先端の穴に取り付けます。4-40ロックナットで固定します

最後にトッププレートをボタンヘッドスクリューでモーターポッドに固定します。

Diff Assembly

デフハブ
4126 ナイロンデフナット
1386 フランジベアリング
1387 ベアリング
リップ
4121 デフスペーサ
ラージデフリング
スプリングワッシャー

SILICONE GREASE
デフグリス

Bag D, G + B

デフボールをスパーギアに入れる

1. 1/8" デフボールをスパーギアの外側の穴に入れます。デフボールを入れた各穴にごく少量のデフグリスを塗ります。グリスのつけすぎに注意

デフの組み立て

2. 4228 アクスルに4201 ラージデフリングを取り付けます。このときDカットを合わせるようにしてください。図のようにデフを組み立てていきます。4121 デフスペーサはリップがベアリング側になるように装着します。

3. 4123 スプリングワッシャーは尖った側を外側にして装着します。最後に4126 ナイロンワッシャーを取り付けます。2枚の4201 デフリングがDカットから外れていないかももう一度確認してください

リップをベアリング側に

Bag R, B Assembly

ライドハイトスペーサの取り付け

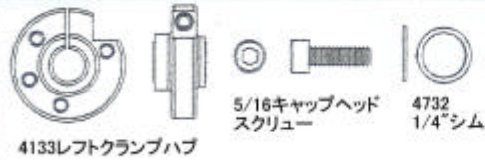
ライドハイトスペーサ2番を使用します。1386フランジベアリングをライドハイトスペーサに装着します。そして左右のライドハイトスペーサを図のようにバルクヘッドとモーターマウントに取り付けます。

左右のライドハイトスペーサが同じ番号のもので上下の方向が一致していることを確認してください。

キットには1番、2番、3番のライドハイトスペーサが同梱されています。リアタイヤのサイズに応じて使い分けられます。

1386 フランジベアリング x 2
1385 プラスチックライドハイトスペーサ

Bag H



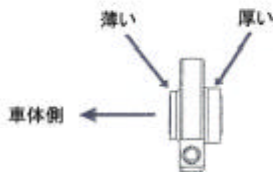
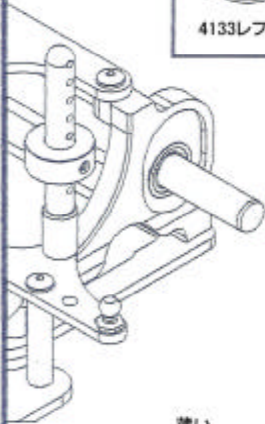
4133レフトクランプハブ

5/16キャップヘッド
スクリュー

4732
1/4"シム

レフトクランプハブの組み立て

リアポッドのベアリングにグラ
ファイトアクスルを通します。
4732 1/4"シムを図のように
アクスルに通します。次に
4133レフトクランプハブを方向
に注意しながら取り付けます。
最後に5/16キャップヘッドスクリュー
を締め込んでレフトクラ
ンプハブを固定します。
このときシャフトが左右に少し
動く程度の隙間を設けてくだ
さい。シャフトが左右に全く
動かないとスムーズな回転が
得られません。



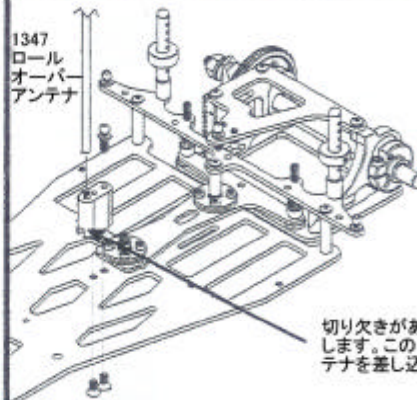
Bag S

4-40 x 1/4" 皿ビス

4-40ボールスタッド

1346 アンテナ・ショック
マウント

1347
ロール
オーバー
アンテナ



切り欠きがある方をシャーシ前部に
します。この穴にロールオーバーアン
テナを差し込みます

アンテナ・ショックマウントの組み立て

1346アンテナ・ショックマウントを4-40 x 1/4"皿ビスで固定します。このとき切り欠き
のある穴が図のようにシャーシ前側になるようにしてください。切り欠きのある穴に
は1347ロールオーバーアンテナを取り付けます
4-40ボールスタッドをアンテナ・ショックマウント上部後側の穴に取り付けます。この
ボールスタッドには後で組み立てるビッチングダンパーが取り付けられます。

13692ボールキャップ

1397 2-56
セットスクリュー

デルリン製Plunger

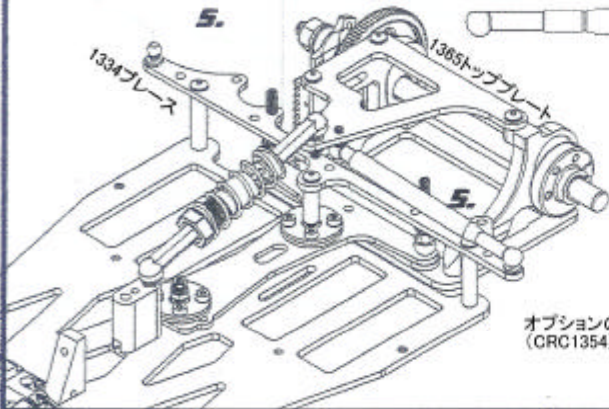
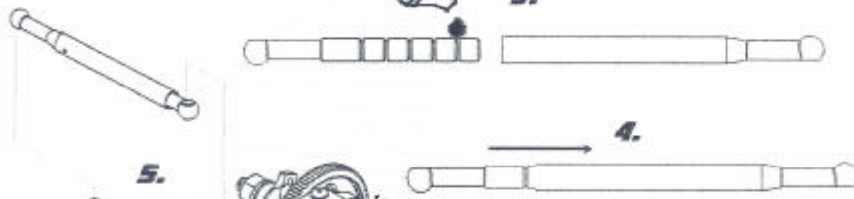
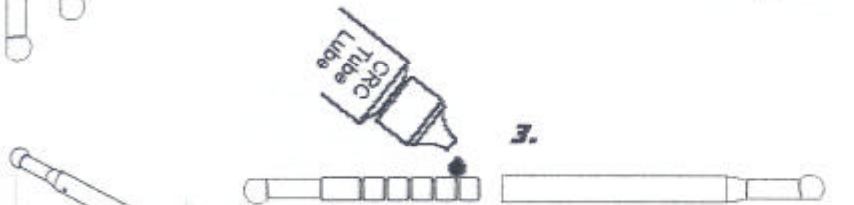
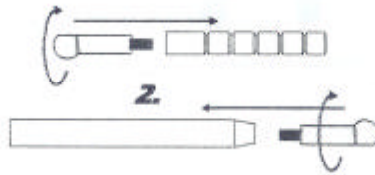
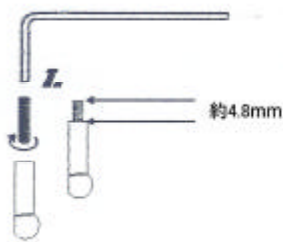
アルミチューブ

13695 .035"
アレンドライバー

Bag 4

ダンパーチューブの組み立て

- 2-56セットスクリューを13692ボールスタッド
に真っ直ぐに4.9mmねじ込みます。同じ要領で
4ヶ作りませ
- 1.で作ったボールキャップをデルリン製
Plungerにねじ込みます。工具を使う必要は
ありません。指できつく締め込む程度で十分
です。強く締め込むとネジ山を壊すことが
あります。同じ要領でアルミチューブにボールスタ
ッドを取り付けます。
- キットに同梱しているCRCチューブペーストを
デルリン製Plungerに塗ります。このときゆっくりと
丁寧にそしてPlungerをコーティングするよう
にペーストを塗ってください。Plungerの全ての溝に
ペーストが満たされるようにします。
- ペーストを塗ったPlungerをアルミチューブにゆ
っくりと回転させながら差し込みます。アルミチ
ューブの内部にペーストが行き渡るようにします。
こぼれたペーストは拭き取っておきます。
- 完成したダンパーチューブをシャーシに取り
付けます。1365トッププレート
のボールスタッド(黒)と1334プレースのボールスタッド(黒)
を使用します。パチンと音がするまでボールキャ
ップを押し込みましょう。

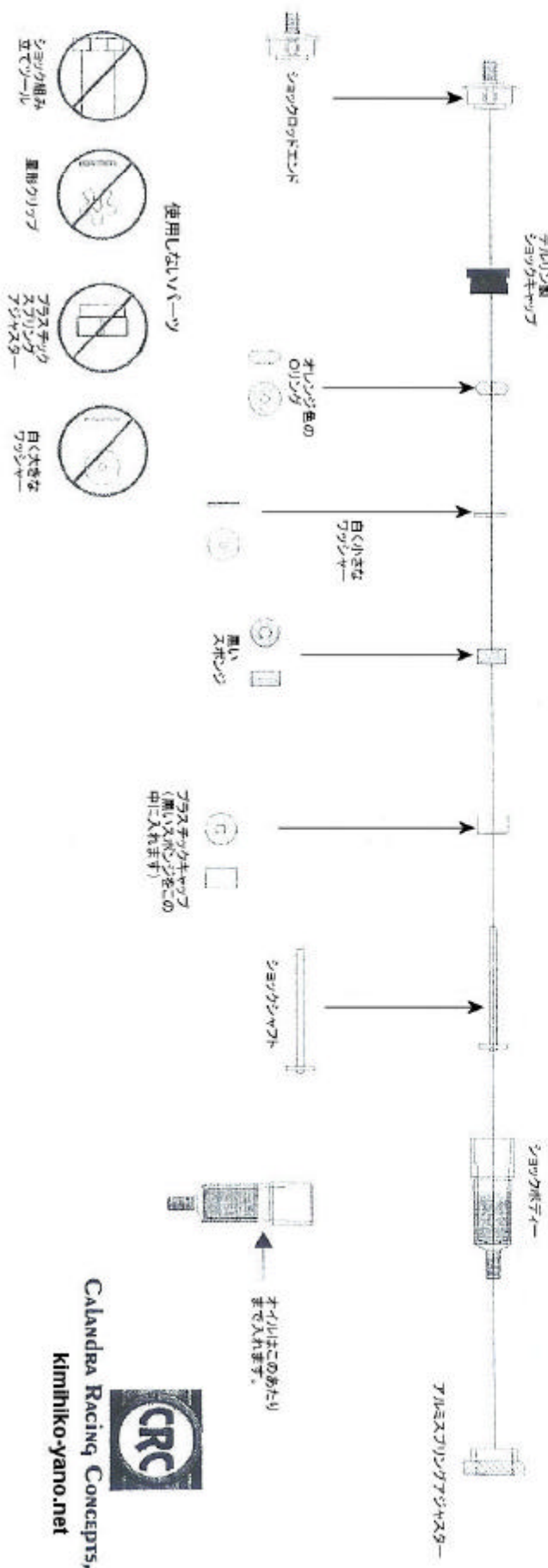


オプションのソフトシャーシ
(CRC1354)で説明しています

CRC Dura-Shock組み立てマニュアル

組み立て前に確認すること: ショックシャフトを黒いデルリン製キャップに差し込みます。シャフトがスムーズに動かないときはデルリン製キャップの穴に製造時のバリが残っているかもしれません。この場合はカッターナイフなどでバリを除去してください。シャフトがスムーズに動かないと正しくショックを組み立てることができません。

- 1 黒いスポンジにショックオイルを染みこませます。スポンジ内部にまでオイルが行き渡るよう指でスポンジを何回か揉んでください。オレンジ色のオリングにもオイルを塗っておきます
 - 2 下図の順番にショックシャフトにパーツを組み付けていきます。
 - 3 下図の位置までショックボディーにオイルを入れます。オイルの入れすぎに注意してください。次に2で作ったシャフトをゆつくりとショックボディーに入れます
 - 4 シャフトをゆつくりと最後までショックボディーに押し込みます。黒いデルリン製キャップをねじ込みます。組み立て中にショックボディーが傾かないようにします
 - 5 オイルを入れすぎた場合キャップは最後まで締められません。余分なオイルがあらわれます
 - 6 シャフトを押し込んだまま、黒いデルリン製キャップを締め込んだり揺めると余分なオイルを取り除くことができます
 - 7 余分なオイルが無くなるとキャップを最後まで締めてもオイルはあふれ出ません。シャフトを押し込むとほんの少し(3mmほど)だけシャフトは押し戻されます(最適なオイル量で組み立てた場合3mmだけシャフトが戻ります)
 - 8 余分なオイルが抜けきっていないとキャップからオイルが出てきます。余分なオイルは組み立て時に取り除くようにしましょう
- 組み立て後に確認すること: 走行後、デルリン製キャップ周辺からオイルがにじむことがあります。この場合はオイルを拭き取るようにしてください。



使用しないパーツ



ショック組み立てツール

黒色ワッシャー

デルリン製ショックキャップ

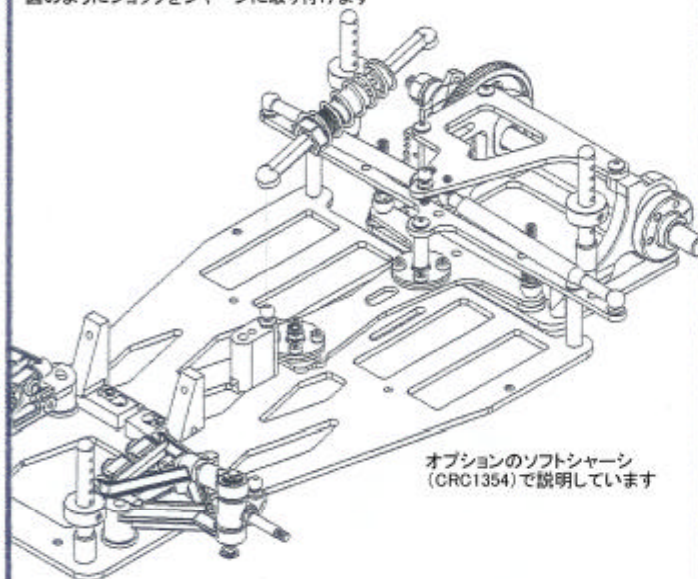
白くまなワッシャー



Bag S cont.

ショックの取り付け

図のようにショックをシャーシに取り付けます



オプションのソフトシャーシ
(GRC1354)で説明しています

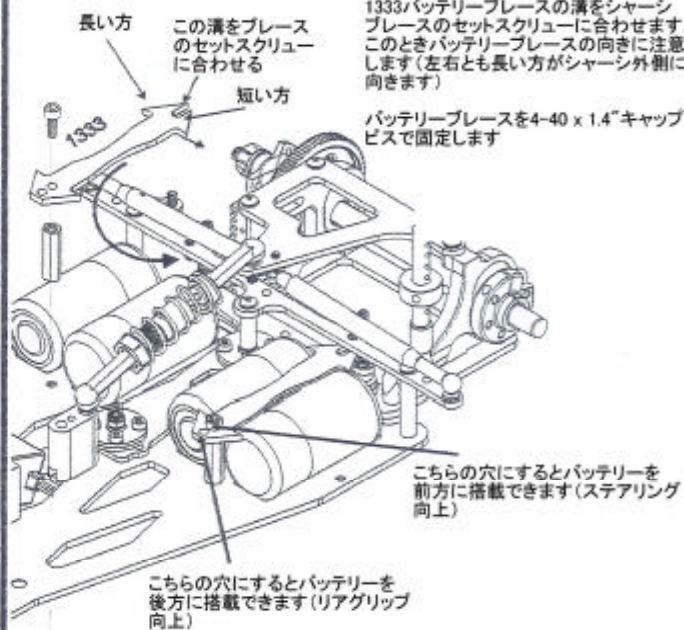
Bag 10

13332Hex/バッテリースタンドオフ 4-40 x 1/4" 4-40 x 1/4"
皿ビス キャップビス

4-40 x 1/4"皿ビスで13332Hex/バッテリー
スタンドオフをシャーシに固定します。

1333/バッテリーブレースの溝をシャーシ
ブレースのセットスクリューに合わせます。
このときバッテリーブレースの向きに注意
します(左右とも長い方がシャーシ外側に
向きます)

バッテリーブレースを4-40 x 1/4"キャップ
ビスで固定します



Bag F cont.

12412スクエアナット

1241ユニバーサルサーボマウント

4-40 x 3/8"
皿ビス

4-40 x 3/8"
キャップビス

#4ワッシャー

別売りのサーボセーバ

ユニバーサルサーボマウントの組み立て

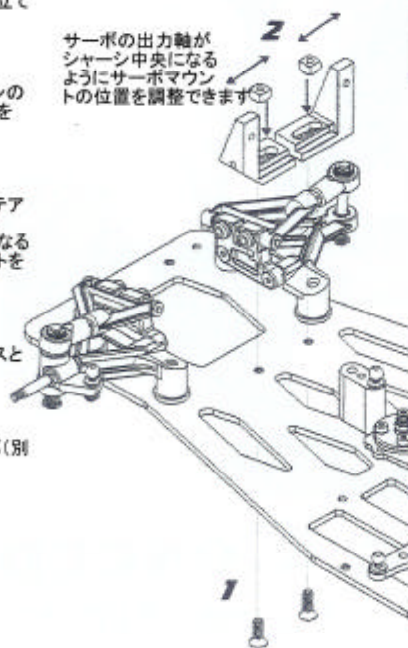
1. スクエアナットをユニバーサル
サーボマウントに差し込みます。
そして4-40 x 3/8"皿ビスでシャーシの
固定します。この時点では軽くネジを
締める程度で構いません。

サーボの出力軸が
シャーシ中央になる
ようにサーボマウン
トの位置を調整できます

2. 左右のサーボマウントの間にステア
リングサーボ(別売り)を入れます。
サーボの出力軸がシャーシ中央になる
位置にユニバーサルサーボマウントを
固定します

3. サーボを4/40 x 3/8"キャップビスと
#4ワッシャーで固定します

4. サーボの出力軸にサーボセーバ(別
売り)を取り付けます



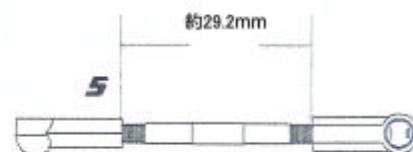
1231 ボールキャップ

ステアリングタイロッド

サーボの搭載



5. タイロッドに1231ボールキャップをねじ込みます
左右のボールキャップの間隔は約29.2mmです。
同じ物を2本作ります



Bag 9

1/8セット
スクリュー

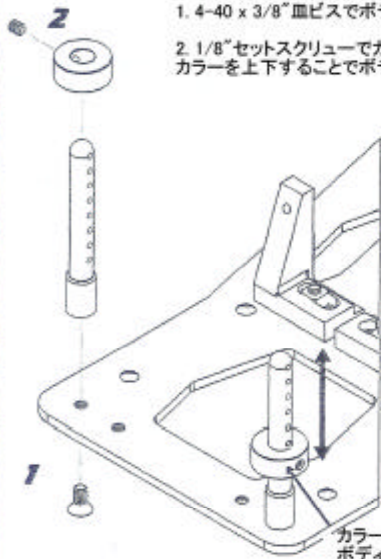


1378ボディポストと
カラー

4-40 x 3/8
皿ビス

フロントボディポストの取り付け

1. 4-40 x 3/8" 皿ビスでボディポストをシャーシに取り付ける
2. 1/8"セットスクリューでカラーをボディマウントに固定する。カラーを上下することでボディの高さを無段階に調整できます



カラーを上下させると
ボディ高さを無段階
に調整できます

Bag B,F

4-40 x 5/16
キャップネジ

4-40アルミ
ロックナット

4731
1/8シム

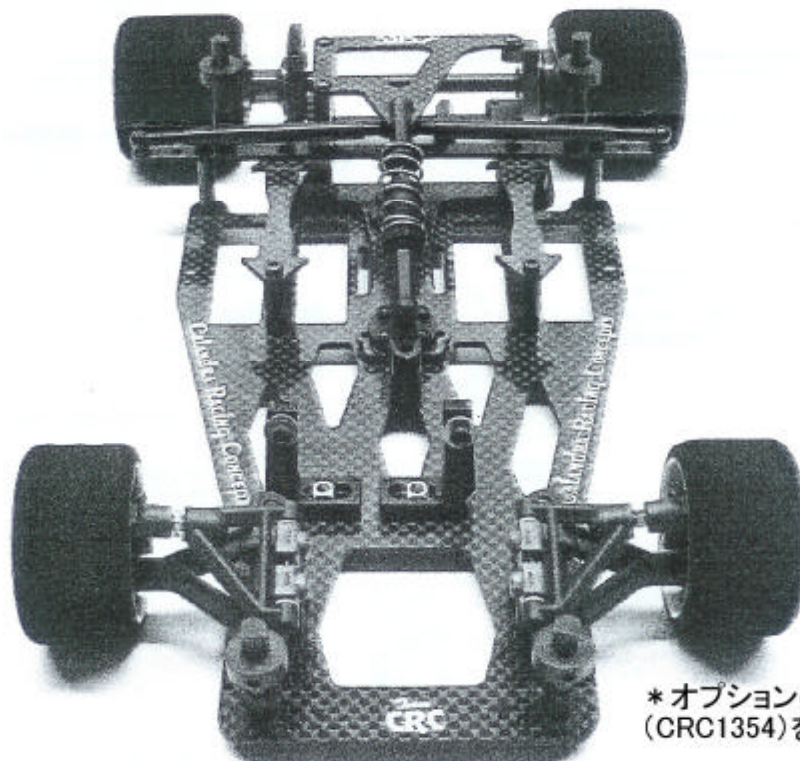
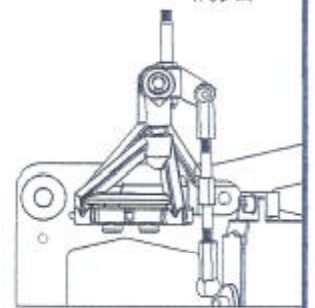
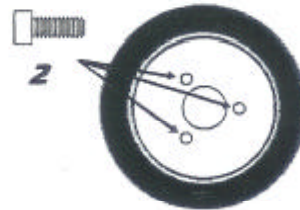
1249ベアリング

1. 図のようにフロントホイールを取り付けます。4731 1/8シムを2枚使用します

4-40アルミ
ロックナット — 1/8シム
ベアリング

2. リアホイールは4-40 x 5/16キャップネジで固定します。

ベアリング — 1/8シム



* オプションのソフトシャーシ
(CRC1354)を装着しています

CALANDRA RACING CONCEPTS, INC.

<http://www.kimihiko-yano.net/>